

公共事業再評価調書

整理番号 H16 - 11

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 5 4 5
		E - MAIL	NOSONSEIBIKA @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (5 年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	--------------	------------	---------

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業		事業主体	県 市町村 その他 ()			
事業名	県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	地区名等	切谷内	市町村名	五戸町		
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国50%	県42%	市町村 8%	その他 %	
採択年度	平成 1 1 年度 (用地着手 平成 1 1 年度 / 工事着手 平成 1 2 年度)						
終了予定年度	平成 1 9 年度 (年 月計画変更 当初計画時 年度)						
事業目的	本農道は、五戸町の主要な農業地域を走る基幹農道であり、現況は、未整備狭小の砂利道となっていることから、これを整備し、集落間及び集落と農地、農地と農業施設を連絡することにより、農産物の流通の合理化と農作業の効率化を図るものである。						
主な内容	農道 L = 5 , 3 7 6 m						
事業費	採択時総事業費 1,400 百万円 (単位:百万円)						
		~ 13年度	14年度	15年度	16年度	小 計	17年度~ 合 計
	計 画	448	312	300	200	1,260	140 1,400
	(うち用地費) 年 月変更	(121)	(10)	(1)	(6)	(138)	(14) (152)
実 績	448	312	300	200	1,260	160 1,420	
(うち用地費)	(121)	(10)	(1)	(6)	(138)	(14) (152)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) · B · C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			88.7 % [/]	100 % [/]
			(90.8 %) [/]	(100 %) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	路盤工 (986百万円)	(延長割合) 71.4 %	(延長割合) 100 %
	舗装工 (132百万円)	(延長割合) 27.2 %	(延長割合) 100 %	
		%	%	
説明	年次計画どおり進捗している。			
問題点・解決見込み				
事業効果発現状況	路盤工の完了により、通行が可能となった区間から供用を開始しており、既に事業効果の一部を発現している。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) · B · C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 農道整備については、農産物流通の合理化や農業の近代化を図り、併せて農村環境の改善に資することを目的としていることから、地域の特性を踏まえ農村環境との調和に配慮しながら、地域の中で重要度の高いものから順次整備していくことが必要である。	【県内の評価】 県内の農道舗装率は全国に比べて低い状況にあることから、地域農家の要望を反映させながら、引き続き計画的に事業を推進する必要がある。
	当地区における評価	五戸町は水稲、野菜、葉たばこの耕種農業と畜産との複合経営により農業振興を図ってきたが、農業所得の一層の向上を目指し、農作物のブランド化や付加価値化の促進に取り組み農業経営意欲の高い地域であることから、農産物輸送の合理化と農作業の効率化を図るため、本農道の整備が必要である。	
必要性	本地区は水稲とながいも、きゅうり、にんにくなどの野菜を作付けしているが、幅員が狭小で、砂利道の本路線を改良するとともに、農地と農業施設を効率的に連絡することにより、走行費節減及び品質向上が図られる。		(a) · b
適時性	現在、主要地方道を使用し遠回りして野菜集出荷所等を活用しているが、輸送距離の短縮により走行費の節減が図られる。また、アスファルト舗装により農産物の荷傷みを防止し品質向上が図られる。		(a) · b
地元の推進体制等	本事業の施行に当たっての受益者の同意率が、100% (511人/511人) と高く、受益農家からは早期完成を期待されている。		(a) · b
効率性			

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)農道工	1,400 百万円	1,420 百万円	20 百万円
	(2)その他経費	70 百万円	71 百万円	1 百万円
		百万円	百万円	0 百万円
		百万円	百万円	0 百万円
	総費用	1,470 百万円	1,491 百万円	21 百万円
便益項目 (B)	(1)品質向上	896 百万円	823 百万円	73 百万円
	(2)維持管理節減	56 百万円	110 百万円	166 百万円
	(3)走行費節減	562 百万円	612 百万円	50 百万円
	(4)一般交通等経費節減	90 百万円	97 百万円	7 百万円
	(5)その他	114 百万円	120 百万円	6 百万円
	総便益	1,606 百万円	1,762 百万円	156 百万円
B / C		1.09	1.18	
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等) 農林水産省構造改善局長通達 (土地改良事業における経済効果の測定方法) 【費用対効果分析における特記事項】 品質向上効果(荷傷み防止)について、野菜の価格が再評価時に下がったものの、人件費が高くなったことにより総便益は増となりB/Cは同水準にある。				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・ 法面保護において、厚層基材吹付工から植生マット工に変更し縮減を図っている。 ・ 盛土材を購入土から、切谷内地区の現場発生材を利用して縮減を図っている。 ・ 再生砕石、再生アスファルト混合物を活用して、コスト縮減に努めている。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 現計画路線延長のうち、3,700m(68%)は、既設農道を拡幅することになっているので、新設に比べ用地費を節約できることから妥当である。	(a) ・ b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 受益者の同意率は100%(511人/511人)となっている。 また、事業の実施に当たっては、地元関係者に対して説明会を開催するなど、合意形成を図りながら進めている。	【住民ニーズ・意見】 農道から畑へ農耕車が容易に出入りできるように進入路の位置、形状について、農家のニーズを踏まえ、調整し理解を得て施工している。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1)地域区分 <input type="text" value="H2d"/> (2)対応状況 配慮している 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している 配慮していない	(a) ・ b
地域の立地特性	【特記事項】 切土部及び盛土部の法面を緑化し、自然環境に配慮している。 遺跡指定地を迂回した平面線形とし、埋蔵文化財に配慮している。 ・ 本事業計画の対象作物となっているきゅうりは野菜指定産地となっている。		

3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業は、地域農業の振興や農村の生活環境の整備など地域に果たす役割が大きいことから、平成18年度の完了を目指し、継続して実施する。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				